

## 第2学年英語科学習指導案

山梨南中学校 筒井 栄太

### 1 単元名 New Horizon English Course 2 Unit 3 “My Future Job” (P22~P26)

#### 2 単元について

クラブ活動の目的についてのアンケート結果の紹介、アンケートに関する会話、職業についてのインターネット上での意見交換の3つの英文とまとめのページとで構成されている。いずれの英文でもターゲットとなる表現は不定詞である。クラブ活動についてのアンケートでは”Why did you join the English club?”という質問に対しての様々な回答を紹介し、目的を表現する英文を扱っている。アンケートについての会話では、”I want to use English in my future job.”のように「～したい」という表現(want to ~)を扱っている。インターネット上での意見交換では、新出表現として”I have many things to learn.”のように、「～するべき、～するための」という表現を扱っている。さらに3つの用法を1ページの中で扱い、不定詞の用法に関する整理も含まれている。まとめのページでは、将来行ってみたい国やそこでしてみたいこと、インターネット上での自己紹介についての英文を完成させ、実際に不定詞を使った文の練習ができるようになっている。

#### 3 生徒の実態

男子15名、女子15名(うち難聴学級在籍1名)、計30名のクラスである。今年度は少人数学級で指導を行っている。1つのクラスを2グループに分けて授業を行っている。1グループあたり15人前後となっており、細部まで目が届くようになっている。学級全体の雰囲気としては前向きに学習に取り組む様子が見られるものの、発言に関しては偏りが見られる。特に、女子の発言が少ないように感じられる。学年生徒会での取り組みとして、授業評価などを行っており、女子の発言回数も少しずつ増えてきている。他の学級も含め、学年全体としてペアワークや音読練習などの全体での学習活動に対しては積極的に取り組んでいる。現在の課題としては書く活動の際に、自分で英文を組み立てられない生徒の割合が比較的多くなっていることである。特に、ヒントを与えても書くことのできない生徒が2割程いる。

#### 4 単元の目標

- ・「～するために」という意味の目的を表す不定詞の副詞的用法について、形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・「～すること」という意味の不定詞の名詞的用法について、形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・「～するための、～すべき」という意味の不定詞の形容詞的用法について、形・意味・用法を理解し、表現できる。
- ・不定詞の各用法を正しく判別し、理解することができる。

- ・不定詞を使用して自分自身についての英文を書くことができる。
- ・理想の旅行計画（行きたい国やしてみたいことなど）を英語で書き、シェアすることができる。

## 5 教協研究との関わり

東山梨教育協議会外国語部会では、「意欲的に英語学習に取り組む児童生徒の育成～Relevanceを高める工夫をしたタスク活動を通して～」という研究テーマを設定している。このテーマを受けて、本時の授業では、学習活動における Relevance（関連性）を高める工夫をした。

### ①既習事項との関連性（＝学習内容の連続性）

Warm-up で実施する review では、すでに学習した単語を互いに質問していく。英語に対して苦手意識の強い生徒でも意欲的に取り組める活動となっている。Q&Aでは互いに質問し、それに答えるという形で行っている。これまで学習した内容を多く取り入れている。また、”My Dream Trip”の英作文では Unit2 で学習した未来形、Unit3 で学習した不定詞を扱っている。単元のまとめの活動として、既習事項との関連性のある活動とした。

### ②生徒自身との関連性（＝興味・関心）

本時の中心となる”My Dream Trip”を作成する上で、どの生徒も表現することができる内容にし、自分自身のことを表現することでより意欲的に取り組めることを重要視ようにした。また、旅行先や旅行目的のみではなく、滞在日数や移動手段などをより明確なイメージをもてるようにし、少しでも生徒が自分自身で考えられるようにした。

### ③言語項目と言語の使用場面における関連性（＝実用性）

今回の活動では、未来形と不定詞が中心となっている。何かの計画を立て、相手に伝える際には未来形や”want to～”を使えることが多い。また、目的を表す不定詞は旅行について話す際によく使われる。つまり、実際の言語材料と言語の使用場面との間に関連性があると言える。

## 6 単元計画

### (1) 学習計画【10 時間計画、本時は第 10 時】

時数	学習内容	関	表	理	言	学習目標
2	1 Starting Out 不定詞の副詞的用法 練習問題 新出単語の学習	○	○		○	・「～するために」という意味の目的を表す不定詞の副詞的用法について、形・意味・用法を理解し、表現できる。
	2 本文の音読 本文についての内容理解 本文に関する重要項目の確認	○	○	○		・自信をもって本文を音読する。 ・本文に書かれている内容を理解できる。 ・目的を表す不定詞の副詞的用法について理解を深める。
2	3 Dialog 不定詞の名詞的用法 練習問題 新出単語の学習	○	○		○	・「～すること」という意味の不定詞の名詞的用法について、形・意味・用法を理解し、表現できる。

	4	本文の音読 本文についての内容理解 本文に関する重要項目の確認	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の会話内容を理解できる。</li> <li>ペアでの音読活動を行い、自信をもって会話ができる。</li> </ul>
3	5	<b>Reading for Communication</b> 不定詞の形容詞的用法 不定詞の3つの用法のまとめ 新出単語の学習	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>「～するための、～すべき」という意味の不定詞の形容詞的用法について、形・意味・用法を理解し、表現できる。</li> </ul>
	6	練習問題 本文の音読	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでの音読活動を行い、自信をもって会話ができる。</li> </ul>
	7	本文についての内容理解 本文に関する重要項目の確認	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の各用法を判別し、理解することができる。</li> </ul>
3	8	<b>Review</b> ㊤の会話練習 国名を変えてのパターン練習 ㊤の英作文 作成した自己紹介文の発表	○	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>不定詞の用法による違いを理解することができる。</li> <li>不定詞や未来形を活用して自己紹介文を作成することができる。</li> </ul>
	9	“My Dream Trip” Q&Aシート 旅行プランをつくる	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>Q&amp;Aシートを使い、相手に質問し、それに対して正しく応じることができる。</li> <li>行きたい国やしてみたいことなどについて、英語で旅行を計画することができる。</li> </ul>
	本時	旅行プランを発表し合う	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>作成した文を活用し、内容をシェアすることができる。</li> </ul>

(2) 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に音読している。</li> <li>聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。</li> <li>相づちをうったり、メモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。</li> <li>内容にまとまりのある文章を書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>語句や表現、文法事項などの知識を活用して正しく読み取ることができる。</li> <li>まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容を適切に聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な強勢の違いについて理解している。</li> <li>基本的な区切りについて理解している。</li> <li>正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身につけている。</li> </ul>

7 本時の授業

(1) 日時 平成 27 年 8 月 28 日 (金) 5 校時

(2) 場所 山梨南中学校 2 年 2 組 教室

(3) 本時の目標

- ・自分の作成した旅行プランをスムーズに発表することができる。
- ・他の生徒の発表を聞き、内容を理解することができる。
- ・意欲的に学習活動に取り組むことができる。

(4) 展開

内容	時間	生徒の学習活動	教師の支援・活動	備考
導入	10 分	<p>[Greeting]</p> <p>Good afternoon, Mr.Tsutsui. I'm fine, thank you, and you?</p> <p>* 質問に対して英語で答える</p> <p>[warm-up]</p> <p>単語チェックシートを使ってペアで練習する</p> <p>Q &amp; A を行う</p>	<p>Good afternoon, everyone. How are you today? I'm fine, thank you.</p> <p>→ 天気, 日付などを質問する</p> <p>ペアの組み方と実施方法について指示を与える</p> <p>机間巡視</p>	<p>単語: 横ペア, 日 → 英</p> <p>Q &amp; A: 縦ペア</p>
展開	10 分	<p>[発表の準備]</p> <p>①自分の書いた英文が読めるように練習をする</p> <p>②質問の仕方を確認し, 全体で練習する (リピート)</p> <p>③実際に応答する (各質問に 2 ~ 3 人ずつ)</p>	<p>机間巡視</p> <p>モデル文 (作文例と質問例, 応答例) の提示</p> <p>対話例</p> <p>* Where do you want to go? → I want to go to <u>the United States</u>.</p> <p>* Why do you want to go there? → I want to go there <u>to see the Statue of Liberty</u>.</p> <p>など</p>	<p>* 読めない単語がないようにしていく</p> <p>* 苦手な生徒用の短い答え方を準備しておく</p> <p>→ 答えの要点となる部分のみを答える (対話例の下線部分)</p>

	15分	<p>[発表]</p> <p>*グループでのシェアリング</p> <p>①発表者が英作文を発表</p> <p>②質問者が質問</p> <p>③残った生徒が答える</p> <p>(④答えられなければ発表者が答えになる文を読む)</p> <p>【②・③・④を繰り返す】</p>	<p>発表順の指示</p> <p>シェアリング方法の指示</p> <p>机間巡視</p> <p>発表者・質問者の支援</p>	<p>4～5人1組</p> <p>4人組は全員が発表</p> <p>5人組は質問者以外の4人が発表</p> <p>1人あたり3分を目安に</p>
	10分	<p>*全体でのシェアリング</p> <p>①5人組の質問者が全体の前で発表</p> <p>③全体で答えの確認</p> <p>He / She wants to go to ~.</p> <p>④解答が出てこなければ、発表者が答えになる文のみを読む</p>	<p>②質問をする</p> <p>* Where does he / she want to go?</p> <p>挙手による発言を求める</p> <p>→解答を全体で再確認</p>	<p>2つ目の質問以降は生徒が質問をする</p> <p>③で答えが出たら、2つ目の質問</p>
まとめ	5分	<p>感想と自己評価を記入</p> <p>[Greeting]</p> <p>Goodbye, Mr.Tsutsui.</p> <p>You, too.</p>	<p>Goodbye, everyone.</p> <p>Have a nice day.</p>	<p>ワークシートの回収</p>

(5) 評価の視点について

- ・発表の際、スムーズに発表していた。
- ・他の生徒の発表をしっかりと聞き、理解しようとしていた。
- ・意欲的に活動に取り組み、夢の旅行計画についての意見交流を行った。